

まちの話題



●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。

広報こまつしま
電話 32-3812

10/3

日本製紙小松島工場の跡地に阿波製紙が進出へ

日本製紙グループの事業再編に伴い9月30日、日本製紙小松島工場が閉鎖されました。

工場閉鎖後も、敷地の一部では関連会社が操業を続けていますが、広大な跡地利用について多くの市民の皆さんが危惧されています。

この度、阿波製紙（三木康弘取締役社長・徳島市南矢三町3）、日本製紙、徳島県、小松島市の

四者による工場立地の覚書が10月3日取り交わされ、工場の建設および操業に向けて事業計画の具体化をスタートさせることとなりました。

阿波製紙は、素材を活かした機能紙・不織布を製造しており、自動車用フィルターや濾過装置向け分離膜支持体紙では、世界トップクラスのシェアを確保しています。



江濱君(前列中央)と石本さん(前列左)

稲田市長は「全国大会では練習の成果を発揮し、体調を整えて日本一を目指してください」と激励しました。

10/6

全国大会出場の内市中学生が市役所を表敬訪問

四国中学校総合体育大会で見事大会13連覇、10月18・19日に



小松島中学校男子新体操部(前列と後列中央の3人)

東京で行われた全日本ジュニア新体操選手権大会に出場した、小松島中学校男子新体操部（3年Ⅱ津川仁君、近久誠一郎君、2年Ⅱ佐藤克哉君、松下隼弥君、井上裕太君、楠一郎君）の6人と、10月24日から26日まで横浜で行われたジュニアオリンピック陸上競技大会に出場した、立江中学校の江濱明起君（中学3年男子800m出場）と石本りこさん（中学1年女子砲丸投げ出場）の2人が全国大会前の10月6日、市役所を訪れ、稲田市長に出発前の報告をしました。

10/11・12

がん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ」しおかぜ公園で県内初開催

がん患者や家族、支援者らが24時間リレー方式で歩き続け、がん撲滅メッセージを発信するチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ（RFLL）命の



稲田市長もリレーウォークに参加

リレー」とくしま2008」が10月11日と12日、しおかぜ公園で県内では初めて開催され、延べ約800人がたすきをつなぎ「がんになっても自分らしくいこう！」などと訴えました。

閉幕後、自らも悪性リンパ腫を患う患者代表で、イベントの開催を呼びかけた渋谷義久さん（堀川町）は「予想以上の方に協力していただき、ありがたい限りです。200%以上の成功です。57年間生きて来た中で、世界一の思い出となりました」と話されています。

善意の寄付

「小さな親切」運動小松島支部（加藤好包会長）が10月7日、市役所を訪れAED（自動体外式除細動器・小児用パッド付き）1台を寄贈されました。

市では、昨年までに市内の各小・中学校へAEDを配置済ですが、今回寄贈されたAEDは、小学校の敷地から最も離れて立地している、芝田幼稚園へ配置されることになりました。



稲田市長にAEDを手渡す加藤会長（左）